錦のうらを來てみればかつかぬあまはすくなかりけり

爾閉浦 とをたうみ、岩枕、敷しま、

床浦 月未勘、枕の上にしほたれて、むなしき波、涙のみもろこし舟もよりぬべし、身はうきしづむ床のうら風、しきたへの夢あれにしま、

鳥羽田浦 同右、伊勢に飛幡と書る、有同事歟、時鳥、五月雨、月、

遠津大浦 近江、みぞれ

十府浦 奥州、すがこも、水鳥、みし人もとふの浦風音せぬにつれなくすめる秋のよの月

時浦 長門、わすれがひ、思ぞいづる、

鞆浦 備後、むろの木、あまを舟、ますらをの手にまきもたるとものうら、

茅渟浦 泉州、いもがためかひろふ、松、しほひ、うきみる、

知田浦 きの國、かぢをと、あゆちがた鹽ひにけらし、ちたのうらにあさこぐ舟の沖に出るみゆ

千賀浦 筑前、千鳥、見るめ計を契にて、猶ぬらす、やく鹽煙、ちかのうら涙、よせかへる心ちしてひるまなくても暮しつるかな、或云肥ぜん、かじかぎりなきちさかのうらの眞砂なりとも

千枝浦 未勘、秋風のちえのうらはのこつみなす心はよりぬのちはしらねど

小鹽浦 越前、思ひきや小鹽のうらのとまやにてね覺に秋の月をみんとは

小江浦 紀州、千鳥

若浦 紀伊、たづ、鹽みちくれば、かたをなみ、忘貝、老の波、月、松の葉ごしにながむれば、沖つしほあひ、みくづ、もしほ草、かく、あまのもしほ木、玉つ島姫、玉も、千鳥、雪、舟、入江のもくづ、神、松、數しま、戀、かきあつむるもしほ草、濱千鳥跡つけそむる、玉をみがく、光をそふる、かきをくなみのもくづ、昔にあとにまよふ、吹つたへたる若の浦風、家風、わかのうら、松、老木の松、玉ひろふべき、みことのり、志づみはてぬる、捨舟、わかのうら路、道まよふ、夜なく鶴、蘆、又和歌に寄てよめり、千鳥をよめるも共心なり、吹上の濱近なり、

香取浦 下總、夏衣、あま衣、月、袖せばき、又同名有近江、それにはいづこにか船のりすらむ高しまのといへり、

韓浦 未勘、おきつより鹽みちくらし、からのうらわあさりするたづなきてさはぎぬ、或云すわうかと云々、

香椎浦 ちくぜん、いざやこ、かしぬのかたに白妙の袖さへぬれてあさなつみてん

韓亭能古浦 ちくぜん、泊、涙高し、

霞浦 常州、あまのいさり火、船、戀、磯な、歸雁、夕煙、あまのもしほのけぶり、

枯木浦 丹波、枝もなきからきのうらも風吹ばなみの花とぞちりみだるらめ

勝間浦 すわう、思ひ出よ千世の子日のけふことにかつまのうらの岸の姫松

風早浦 駿河、我ゆへにいもなげくらし風はやの浦のおきつの霧たなびけり

葛飾浦 下總、月、かつしかの浦間のなみの打つけにみそめし人の戀しきやなぞ

風莫浦 かざなみのうらの白なみいたづらにこゝによりくるみる人なしに

形見浦 紀州、もかり舟、たづ、ちどり、月、戀、あまの釣舟、もしほぐさ、なみ枕、ゆめ、かへる雁、空貝、いもがしまをそへたり、

鹿島浦 常州、しほ

堅田浦 近江、あみのうけなは、あだなみ、つり舟、鮒、あふ事はかただ共云り、

よ謝浦 たんば、松のむら立、ちどり、いさりあま、うら松共つゞけたり、

余古浦 近江、衣手によごのうら風さしさしてたゞかみ山に雪ふりにけり、

玉浦 きの國、あさりする、たづ、月にみがける、

手本浦 相州、馴て見したもとのうらのかひもあらばちどりのあとをたえずとはなん、

玉島浦 筑前、まつら河、玉しまのうらにわかゆつりいもらを見らん人のともしき

手結浦 越前、あま、こしの海たゆいのうらに旅ねしてみれば戀しみやまと思ひつ

高砂浦 播州、松、時雨、

竹浦 同右、音そよぐ竹のうらかぜ吹立て眞砂にあそぶ秋のかりがね

高間浦 常州、よそにみて袖やぬれなんひたちなるたかまのうらのおきつしらなみ

竹敷浦 對馬、紅葉、玉も、御船、

高師浦 遠江、或云泉州と云々、此定、いるしほ、はまなの橋、をとに聞高師のうらのあだなみはかけじやそでのぬれもこそすれ、そなれ松、なれずはいか